
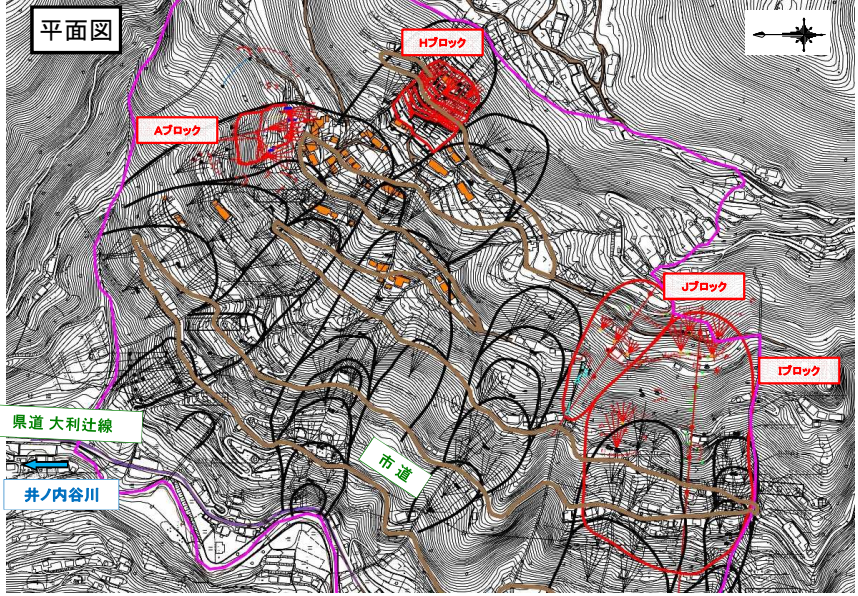



砂防事業 事後評価結果

担当課 : 徳島県砂防防災課

事業の概要

担当課長名 川人 啓二

事業名	地すべり対策事業	事業区分	地すべり対策事業	事業主体	徳島県
事業箇所	徳島県三好市井川町井内東	箇所名	倉石(くらいし)地すべり防止区域		
事業概要					
排水ボーリング工 L=3,550m、アンカー工 N=159本、水路工 L=250m					
事業の目的・必要性					
当箇所は、三好市井川町井内東に位置し、平成23年9月台風第12号に伴う豪雨により地すべりが発生した。現地には県道大利辻線や市道、人家、避難所などがあり、地すべりが拡大すれば甚大な被害が発生する恐れがあったため、災害関連緊急地すべり対策事業の採択を受け、平成23年度から対策を実施した。					
総事業費		598百万円			
事業概要図・写真					
 <p>施工箇所</p>		 <p>平面図</p>			
 <p>完成写真</p>					

事業評価結果

	評価項目	評価内容
事業効果等	①費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	計画全体事業費600百万円→変更全体事業費598百万円 計画工期H23～R1→実施工期H23～R1
	②事業の効果の発現状況	・事業実施後は地すべり運動が沈静化しており、地すべり発生危険性を軽減できた。 ・人家や道路(避難路)、避難所を保全したことにより、地域の防災力の向上に寄与した。
	③事業実施による環境の変化	・工事の進入路について、土地の改変が少ない工法を採用した。
	④社会経済情勢の変化	・土地利用や保全対象に変化は無い。 ・地域の高齢化が進み、自力では避難が困難な住民が増えている。 ・気候変動による降雨特性の変化により、土砂災害の激甚化が懸念されている。
	⑤課題と今後の事業への反映	・地下水を利用する地元住民と交渉する必要が生じた。今後の事業においても、事業に影響する関係者との調整を積極的に実施し、円滑な事業進捗を図る。

費用対便益	区分	基準年	B/C	総費用		総便益	
	着手時	平成23年	9.1	596	工事費、調査費	5,401	人家65戸、市道9,300m、避難場所2箇所

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※保全対象については、着手時は概略調査、完成時は詳細調査結果に基づいているため、現地状況により数値が異なる場合がある。